

# ホルマリン自殺の一例

昭和33年8月25日 受付

信州大学医学部法医学教室 (主任: 野田金次郎教授)

若月岩雄 萩原昭 金箱房枝  
長野県警察本部鑑識課

## まえがき

自殺にえらぶ手段というのは縊死, 投身, 毒物, 有刃器等大体きまつたものが多い。併し, その個々について調べてみると「こんな方法」でと一驚される程の事もある。

毒物にしても, 流行業的な存在として青酸がある。この他最近では農業によるものが増加して来た事は公衆衛生上その使用並管理に再考を要する点があると考えられる。

又睡眠薬によるものも古くからすたれない手段の一つであろう。

所が著者等はホルマリンによる自殺例を経験したのでここに報告する。

## 概要 (写真参照)

昭和某年県下某村で起つた事例である。

某家の老女(75才)は長らく慢性胃炎といわれ養生していたが, たまたま某年6月血を吐いたので早速医師に診てもらつた所, 混合型開放性結核といわれ入院加療をすゝめられたが, 入院して肺病という事が村内に知れる事を極度におそれて, 極秘に自宅養生をつゞけていた。併し, 肺病と知れれば家人の結婚等にも差支えるし, 年も年だからと思つて某医師に自殺によい薬の相談をしたが当然断られ, さとされ, ついに養蚕に用うるホルマリンを飲んで自殺をしたものであると決定された事例である。

## 解剖所見

先づ気付かれたのは高度胃下垂があつた事であり, 確に生前慢性の胃病でなやんだであろう事が察せられる。両肺に古い結核病竈が認められた。この外に胆石症が認められた。之は小豆大のそろつた形の胆石84箇を容れていた。之によつて所謂胃痙攣といわれる様な発作も時々起した事だろうと思われる。

併し何といても特異な変化は以下列挙する所見である。

(1) 舌は硬く切割してみると, 筋肉は全く硬化し, 混濁し, 病理組織の固定標本様である。

(2) 咽頭等は混濁し皺壁は全くそのままの状態に固定されている。

(3) 食道も固化し内面皺壁もそのままの状態に固化している。

(4) 脾は表面の部のみは異常に固く(固定), 内部はむしろ軟である(死後変化)。

(5) 肝, 胃, 脾, 結腸は全く固くなつていて, 夫々に分離し難いので一括して取出した。

胃は風船状になつて全く固定されている。

肝は胃及諸腸との接面は非常に固く, 固定像を示しているが, 内部はむしろ軟(死後変化)。

脾は全く固定されている。

小腸はやはり固定された状態であり, 内に寄生していた回虫も固定されている。

之等に応じて外表では臍部を中心として腹壁の異常

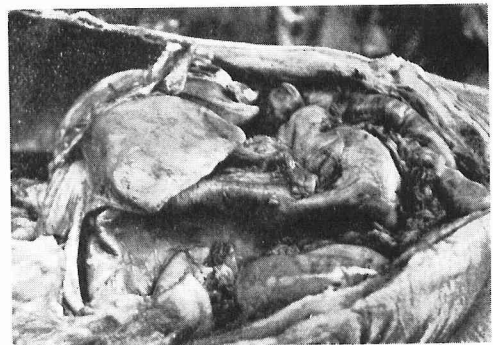


写真1. 腹腔臓器の固化の状態(側方より撮映)

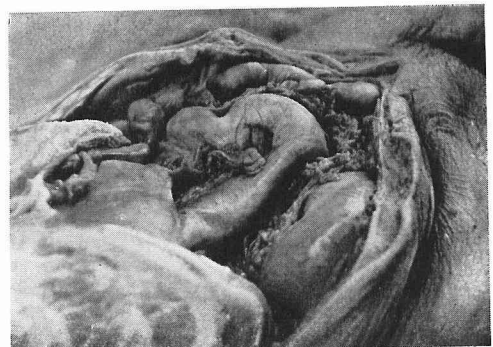


写真2. 全前(右上方より撮映)

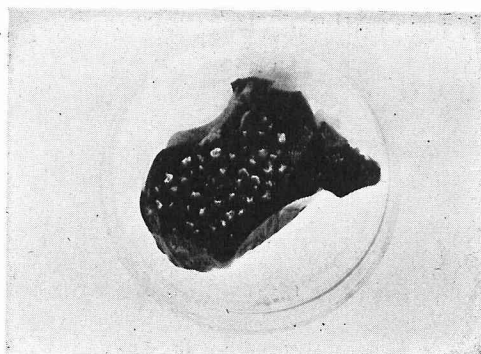


写真 3. 胆石 (胆嚢を切開した所)

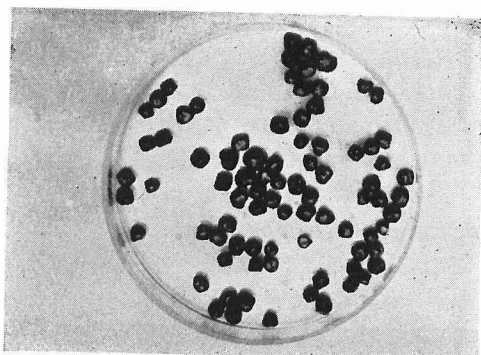


写真 4. 胆石 (シャーレに取出した所)

の固化が認められ、切剖面でも筋層は固く混濁している。

(6) 十二指腸と空腸並に回腸上部にわたって順に薄くはなっているが、内容が丁度黄疸のある臓器をホ

ルマリン固定した時と同じきれいな緑色を呈している。

(7) 大動脈内にはタール状の流動血中に凝塊を混じた血液がみられる。

(8) 胃内には食物塊等は全くみられず、ホルマリン臭の極めて強い無色透明な液約30ccを容れていた。

以上よりみるとホルマリンを経口的に服用したと考えてない所見である事が判る。

#### むすび

ホルマリンを経口的に服用して自殺したと考えられる1例について報告した。

### On a Case of Suicide by Taking Formalin

Iwao Wakatsuki, Aakira Ogihara  
and Fusae Kanabako

Department Legal Medicine Faculty of  
Medicine Shinshu University  
(Director: Prof. Dr. Kinjiro Noda)  
The Section of Criminal Identification  
of Nagano Police Head Quarter

A 75 years old woman killed herself by taking formalin. Autopsy revealed that her digestive organs and their neighbouring tissues were seen fixed by formalin.

It seemed significant that the inside of the duodenum and the upper parts of the intestine were shown green, perhaps caused by green color of biliverdin. Of course, ca. 30cc. of formalin was found in the stomach.